

# 大学授業における デジタルストーリーテリング制作と学習成果



須曾野 仁志 (三重大学教育学部)  
susono@edu.mie-u.ac.jp

下村 勉 (三重大学教育学部)  
simomura@edu.mie-u.ac.jp

鏡 愛 (三重大学大学院教育学研究科)  
207M004@m.mie-u.ac.jp

## ■ あらまし ■

大学授業「教育工学」において、大学生がデジタルストーリーテリング制作にとり組んだ。大学生は静止画（絵や写真等）を利用し、自分自身の声で録音したナレーションで静止画をつなげ、「もったいない」をテーマとした90秒以内のストーリーを構成・編集した。本研究では、学習成果に注目しながらこの実践についての検討を進めた。

## 1. 大学授業での ストーリーテリング制作実践

1980年代前半より、三重大学では、ビデオカメラを用いたストーリーテリング制作を進めてきた。



## ★ 本研究での授業実践①

紙芝居・ビデオカメラ・  
デジタルの3つから選択する  
ストーリーテリング制作  
(皇學館大学文学部授業「教育工学」  
2006年度後期、須曾野担当)



## 《授業実践①でのこだわり》

- ・ ストーリーテリング制作は**全員参加**
- ・ 3～5人程度のグループでの**協働作業**
- ・ **限られた時間内**（授業約3コマ分）で制作
- ・ 作品時間は**90秒以内**
- ・ 作品を**視聴し合い、成果を共有**



そして、2006年より、  
デジタルストーリーテリング制作に着目。



# DIGITAL STORYTELLING